

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年4月3日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100219
法人名	医療法人 健秀会
事業所名	グループホーム どんぐりの里
所在地	鹿児島県霧島市隼人町真孝113番1 (電話) 0995-44 -6934
自己評価作成日	平成26年2月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年3月18日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

高齢者で尚且つ認知症に罹患している方は、同時に身体的加齢変化のみならず、他疾患にも罹患していることが少なくない。当グループホームは医療法人を母体としている利点を生かして医療面でのサポートに基づきながら入居者の日常をサポートしてゆけるものと思う。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは木造で天井も高く広い。明るい雰囲気の中で利用者が穏やかに過ごしている。
- ・地域とのふれあいや家族のように利用者と接していく理念が掲げられている。利用者が理念を書道で書きリビングの壁に貼ってある。
- ・グランドゴルフや文化祭・運動会など利用者が地域行事を見物に行き、知人と会話をしたりして地域交流が行なわれている。
- ・運営推進会議も定期的に行なわれ、事業報告や外部評価結果報告等が行なわれ、参加者から意見や提案をもらい運営に反映している。
- ・隣接している母体医療法人と医療連携態勢が整っており、利用者や家族は安心している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所理念は施設内に表示してあり、またミーティングに取り入れたり、更に入職時には理念の説明も行っている。	地域密着をめざした理念をリビングに掲示し、ネームの裏にも明記し、会議やミーティングで振り返りを行っている。利用者が書いた理念がリビングに飾られている。理念をケアに反映して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的な交流には難しいものがあるが、近くのショッピングセンターでの買い物など利用者の希望に対応している。更に理髪店なども利用している。	グランドゴルフや文化祭等の地域行事に見学に行ったり、散歩や買い物に行くと必ず知り合いに会うことが多く会話をしている。地域から差し入れなどがある。近所の高齢者を招待してお茶会の計画をしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の認知症模擬徘徊訓練に参加し地域住民への認知症への理解を深めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族や利用者の要望や意見を取り入れ、更に地域包括や関係機関の意見等も参考にさせて頂いている。	会議は定期的に行なわれている。事業所から現状報告や外部評価の結果報告・その後の取り組みを報告して、参加者から活発な意見や提案があり、スタッフで話し合い運営に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	問題が生じたらその都度指示を仰いでいる。更に運営推進会議にも出席頂き、また市主催にも極力参加させて頂いている。	市の担当者とは直接出向き、事業所の報告や課題など報告し、アドバイスや提案を受けている。運営推進会議へ、市の担当者が出席して現場の情報や意見を聞いたりしている。市主催の研修や行事に積極的に参加して、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	勉強会の中にも取り入れて全スタッフの理解と知識を深めて実施に至っている。	身体拘束廃止委員会を中心に毎月、勉強会を行い、言葉や身体拘束の具体的な行為を職員全員が理解し、ケアに反映している。入居時に家族にも身体拘束をしないケアの説明をし同意をもらっている。玄関の施錠は日中は自由に出入りができるようにして、外出希望の利用者には声かけし一緒に付添い支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に対しては勉強会にも取り入れて全スタッフの熟知に努力している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度については現在直接関係する利用者はいない状況ではあるが、勉強会に取り入れて知識を深めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時のパンフレットの説明、契約時も十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者においては外出外泊などの要望を頂いており、病棟との連帯の中でそれらの要望に応じている。運営推進会議等で家族の要望も聞いて、それを反映している。更に年2回相談員制度も活用し、相談員2名ずつ来所頂いている。</p>	<p>利用者とは日常の生活の中で会話したり、入浴の時や夜間眠れない時に、利用者の思いを聞いている。家族からは面会時や行事後の話し合いで、生活状況や医療関係などの報告を行い、意見を聞き、ケアに反映している。意見箱も設置してあり、外部に意見を表せる事も説明している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>スタッフが気軽に話せる雰囲気を作り出来る限り反映に努めている。またそれらを施設長に報告相談している。</p>	<p>管理者は日常的に職員の意見に耳を傾け、個別にも面談をして、職員の意見が出やすいように心がけている。出された意見は施設長と相談し運営に反映している。勤務変更なども話し合い反映されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の条件については年一回見直しを行っている。（処遇改善交付金の申請済み）</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各種の研修会や講演会、TV、インターネットを介しての勉強の機会を作るよう努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協会に入会して情報紙や定期的会合出席により交流（情報交換）をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時は不安感が生じ困惑する人が多い。早い時期に施設に馴染んで頂く為にもじっくりと傾聴するよう心掛けている。その中で本人の不安な要素なども理解できる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約に至るまでに、家族の困っていること、更には入所してからの不安なことなどお話頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の要望や困ったことなど理解できるようゆっくりとした時間を設けて満足して頂けるよう支援の提供にも選択肢を持って応じている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常に利用者を中心に考え、利用者の視点に立ち、寄り添う気持ちで家庭的な雰囲気を重視している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会も自由にして頂き、家族と一緒に外出・外食などして頂いている。そば打ちや敬老会・クリスマス会など家族と一緒に楽しんで頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣の住民や遠方の親戚など面会あり、また住み慣れた自宅への外出なども自由に家族と共にして頂いている。	馴染みの関係を大切にしている。自宅周辺の知人と話したり、近隣に知人や友人が居住していて日常的に訪問がある。自宅に帰ったり、墓参りや馴染みの場所へのお出かけ等、家族の協力をもらって馴染みの関係継続を支援している	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の声かけの援助や食事時の会話など微笑ましい光景もみられる。リビングでの席順も考慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院の場合、病院へ見舞い経過を把握しながらご家族との連絡も維持している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人や家族の要望をケアプランに取り入れてスタッフも本人本位の生活が出来るよう努力している。	日常生活の中での会話を大切に表情やそぶりからも思いを把握するようにしている。個別に利用者の思いや意向を職員で話し合っている。意思疎通が困難な場合は家族や職員で話し合い本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の聞き取りの中で、これまでの生活環境を把握しサービスに生かしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活支援、行事、レクリエーション、外出など利用者の状況に応じて行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日頃のスタッフの意見や本人、家族の要望など取り入れている。利用者の状況も変化しているなかで、それらに合わせて行っている。	本人や家族の希望や要望を聞き、医師の意見をベースに介護計画を作成している。定期的にモニタリングを行っている。意向の変化があれば見直しを行ないチームで課題分析している。状況変化にともなって臨機応変にプランの見直しをしている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録、日々の健康チェック表など活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時のニーズに合わせてケアを取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの活用や家族との外出（食事、温泉）など地域の資源を生かしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病状に応じて対応し、入院された場合は面会し本人、家族との交流も維持している。	本人や家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関が隣接し24時間医療連携態勢ができている。専門医への受診などは家族や職員が適切な対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日々のケアの中でつづけた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	医療連携の中でDr、看護師に対して逐次報告している。また緊急性のある場合は即対応できるよう連絡体制も整っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院先のDrと施設長との情報交換、家族との情報交換を維持しながら本人と家族が安心して頂けるよう良好な関係維持に努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居時の説明と重度化した場合は更に主治医と連帯し相談助言のもとご家族と終末期に向けて十分な話し合う。	重度化と看とりについては指針と同意書を準備しており、入居時に事業所の方針を説明している。早めの対応と家族との話し合いをその都度行なって、段階的に主治医と連携を取りながら、終末期に向けての支援ができるよう取り組んでいる。看取りの事例がある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	たまいきクリニック（併設）連帯を図り対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	年二回訓練実施	<p>消防署の指導のもと年2回昼夜間想定防災訓練を行っている。桜島の爆発も想定しながら災害訓練をしている。ホームだけの自主訓練も行なっている。スプリンクラー、自動通報装置、消火器、災害時の備蓄もしてある。訓練の時は近隣の住民も参加を呼びかけている。今後、真っ暗な中での救助について訓練計画や、ランプやヘルメットについても検討中である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>勉強会に取り入れたり、日頃のスタッフの言動においては気付き次第指導している。</p>	<p>研修や勉強会で、人権の尊重とプライバシー保護について研鑽し、利用者の思いを大切にしたケアを行っている。日々のケアの中で、言葉かけが馴れ合いにならないように、トイレ誘導時などプライバシー確保についてなど、資質の向上を推進している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>自ら意思表示出来るような声かけ支援を行っている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>家庭的な雰囲気の中入浴など利用者の希望に応じ外出なども付き添いの中応じている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>出張理容を活用したり、利用者の好みの服など把握するよう努力している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を献立に活用したり、季節の食材を利用して工夫している。利用者の自発的な行為による片付け等行っている。	給食委員会で食事が美味しく楽しみになるように、個別的に把握したり、行事食や季節に応じた食材を活用して工夫している。利用者も力量に応じて準備や片付けを一緒にしている。献立は利用者の希望が採用され、新鮮な旬の食材に気を配り、栄養士が確認して調理し、利用者の喜ぶ食事となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	透析中の利用者に対しては、水分管理、体重管理、栄養面での管理など指示を仰いでいる。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声かけでのケア、寝たきりの利用者に対しては義歯洗浄、うがい施行。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表の活用、更に排泄のパターンを把握することでトイレでの排泄を促すなど努力している。	排泄チェック表で個々のパターンに沿って早めにトイレ誘導を行い、基本的にトイレで排泄をしている。排泄の大切な事やオムツを減らすことを基本に、自立支援に向け言葉かけをしてトイレへの誘導をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況の把握と水分、食物（野菜等）考慮し出来るだけ自然排便を促す。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週二回以上を設定しているが本人の要望を重視している。	週2～3回の午前の入浴を基本にしているが、毎日や午後入浴など希望があれば、個別にその都度対応している。羞恥心や負担感にならないような気使いもしながら入浴が楽しめるようにしている。家族が同行して温泉を楽しんでいる。入浴をいやがる利用者には個々に合わせてタイミングを図り、入浴に導いている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の生活習慣を尊重している。ラジオ・テレビをご覧になっている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬に関しては全スタッフがマニュアルに添い確認、実施している。（クリニックの看護師との連携）		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の楽しみや特技を活かせるよう支持している（掛軸・書き物など）		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人、家族の希望や要望を自由に取り入れて、其々外出外泊など行って頂いている。	体調や天候が良ければ近隣を散歩したり、希望を聞いてドライブで日頃行けないところや住み慣れた自宅周辺まで職員や家族と行っている。花見など季節に応じた見物や地域で行なわれる行事などに出かけている。家族の協力で受診や墓参り・外食等の外出を共にしている。車いすの利用者も天気の良い日は買い物に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族と本人の要望に応じている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	自由に電話（携帯電話）を利用されている。インターネット利用者もおられる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日々の清掃、装飾等活用している。	リビングは天井が高く広い。天窓があり採光を取り入れ明るい。壁には利用者の作品でプロなみの似顔絵や季節感のある飾りつけがされている。台所が近く、食事の準備風景や料理の香りがするなかで、職員と利用者が間近で交流できる空間となっている。個々に思い思いの場所でおしゃべりをしながら居心地よく過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者に合った居場所の確保に心掛けリビングにおいては利用者同士が楽しく会話出来るよう席の配置など工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ自宅の雰囲気維持できるように家具や飾り物など使用して頂いている。	居室はベッドとタンスが設置されている。利用者と家族で話し合い、自宅で使っていた身の周りの小物や仏具・家族の集合写真・テレビ・フォトプログラムが置かれるなど、部屋は整理整頓され過ごしやすく、落ち着ける雰囲気になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フローアールやトイレ、洗面所など、それぞれを自立に応じて活用している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		<input checked="" type="radio"/>	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		<input checked="" type="radio"/>	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		<input checked="" type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input checked="" type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない